

令和5年（2023年）9月1日

令和5年度金沢市議会9月定例会月議会 市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、令和5年度金沢市議会9月定例会月議会が開かれるにあたり、市政の概況と提出議案の大要につきまして、ご説明いたします。

【市政の概況】

さて、我が国の景気は、緩やかに回復している一方で、長引く物価高騰により、実質賃金の減少が続いており、市民生活は厳しさを増しています。市として、社会経済活動を正常化させ、持続的成長につなげるべく、引き続き、市民生活の安定と地域経済の活性化に最善を尽くしてまいります。

最初に、物価高騰対策です。先般、政府は、電気・ガス料金の負担軽減を含めた経済対策を今月中に取りまとめることを発表しましたが、物価上昇が長期間続いている情勢に鑑み、これを待たずに、市独自の切れ目のない対策を講じていきます。

まずは、経済的な負担が大きい世帯や施設への対応であり、生活保護世帯やひとり親世帯をはじめ、公共的なサービスを提供する福祉施設や地区公民館等に対し、夏期に続き冬期における光熱費の一部を助成します。

また、学校給食や保育所等の副食にかかる食材価格についても、想定以上に高騰しており、当初予算で措置した公費負担を増額することで、保護者負担の軽減を図ってまいります。

次に、地域経済の活性化についてです。「第二の開業」ともいわれる北陸新幹線金沢・敦賀間の開業が、明年3月16日に決まりました。先般、東京において、首都圏の旅行社やメディアを対象に地元観光事業者との商談会を開催するなど、既に誘客プロモーションを強化しているところであり、また開業当日は、県と連携しながら、金沢駅において伝統芸能を披露する開業おもてなしイベントを開催します。加えて、インバウンドが回復基調

であることから、冬期の需要喚起に向けて、官民連携により、夜のまち巡りと食文化体験を組み合わせた外国人向けコンテンツを開発するなど、金沢のブランド力を国内外に発信し、開業効果を一層高めていきます。

他方、今年に入り、転職やテレワークを機に、首都圏から本市への移住者が増えていることから、U J I ターンの就業等にかかる支援制度の助成枠を追加します。また、こうした外部の視点を生かすため、これまで中山間地域で実績のある地域おこし協力隊の受入れを拡大することで、地域の魅力と活力を高めていきたいと考えており、金石、大野、森本の3地区をモデル地区として明年4月からの受入れを開始するため、募集などの準備を進めていきます。

さて、「いしかわ百万石文化祭2023」が、いよいよ来月14日から開催されます。今月23日には、太鼓や吹奏楽などを披露する1か月前イベントを庁舎前広場で開催するほか、来月上旬には、まちなかの商店街等にバナーフラッグを設置するなど、機運醸成を図るとともに、市民や来街者が、全国各地の音楽や舞踊、芸能など多彩な文化に触れる絶好の機会となることから、関係する文化団体などと連携しながら、本番に向けた準備に万全を期していきます。

他方、明日からは、28大学、約240名が参加する「全国学生大茶会」を開催するほか、今月15日からは「金沢JAZZ STREET」を開催します。まちなかの賑わいの創出とともに、茶の湯や音楽など、本市文化の広がり、奥深さを感じてもらえる、多種多様な文化イベントを展開していくことで、国民文化祭の開催につなげていきます。

一方、先月20日に竣工した金沢美術工芸大学の新キャンパスですが、質の高い教育環境のもと、美の創造を通じて社会に貢献できる人材を輩出していく「知と創造の拠点」として、来月1日から供用を開始します。なお、現キャンパスの跡地については、売却を基本に、建物の解体に向けた実施設計に着手したところであり、跡地取得の意向を示している金沢大学との協議を重ねるとともに、地元の皆様のご意見も伺いながら、必要な手続きを進めていきます。

ところで、先般、国史跡である「加越国境城跡群及び道」の松根城跡の調査において、全国にも類例のない高い築城技術を示す土塁と堀が確認されました。これを復元整備することで、希少価値の高い歴史文化遺産を保存・継承していきたいと考えており、発掘調査とともに実施設計に取りかかります。

次に、スポーツ文化に関してですが、先月、「金沢スタジアム」のネーミングライツパートナー企業となる優先交渉者を決定したほか、10月からの施設管理の開始に向けて、指定管理者の指定にかかる議案を今回お諮りしています。また、クラウドファンディングを活用した設備の導入も進めているところであり、こうした民間企業などの活力を生かしながら、明年2月の供用開始に向けた準備を加速していきます。

また、スポーツ大会の誘致を通じて地域の活性化をめざす「地域スポーツコミッション協議会」の初めての全国大会が、本市で開催されることとなりました。大会を通じて、金沢の質の高い文化と組み合わせた本市の特徴的な取り組みを発信し、大会・イベントなどの更なる誘致につなげてまいります。

さらに、来月29日開催の第9回金沢マラソンであります。海外ランナーの受入再開や沿道応援の自粛解除など、4年ぶりの通常開催となります。親子や車いすの方を対象にしたファンランや金沢マラソン・オンライン大会も併せて開催し、これまで以上に魅力的な大会となるよう、準備に万全を期していきます。

次に、子育て支援策についてです。放課後児童クラブの待機児童の解消に向けて、四十万小学校及び中央小学校の各校区において、新たなクラブが開設されることとなりましたので、これを支援するとともに、児童クラブを併設する平和町児童館については、来月末に改築工事が完了することから、11月の供用開始に向けて、準備を加速します。

他方、食材等の提供を通して支援につなげる拠点型子ども宅食事業に関しては、これまでの駅西地区に加え、先月、北部地区で実施しました。地域の主任児童委員やNPO団体などと協働で、今年度実施する4回の試行により、効果や課題を検証し、今後の施策展開に生かしていきます。

次に、教育施設に関してですが、兼六小学校の旧小將町中学校への移転整備については、先般、国庫補助の内示を受け、令和7年8月の完成に向けて、債務負担行為を併せ、校舎等の改修工事にかかる経費を今回の補正予算に計上いたしました。

また、芳齋地区で進めている特別支援教育サポートセンター（仮称）等の整備に関連し、近接するデイサービスセンター玉川苑が本年度末で事業を終了することから、跡地をサポートセンターの教育環境の充実に活用することとし、既存施設の解体に向けた準備に取りかかります。

なお、馬場小学校と明成小学校との統合後の校歌は、現在の明成小学校の校歌を引き継ぎ、校章を新たに制作することで、統合協議会の合意が得られたところであり、引き続き、明年4月の統合準備を鋭意進めていきます。

他方、玉川図書館の建築的な価値に配慮したリニューアルにつきましては、3月末に策定した詳細な改修計画を踏まえ、予定していた基本設計を簡素化できることから、実施設計を前倒しいたします。

また、玉川図書館と玉川こども図書館の駐車料金につきましては、この1年間の近隣の渋滞状況や駐車場の利用実態を勘案し、来月1日から、無料とする時間を現行の最大30分から1時間に延長することとし、図書館利用者の利便性の向上を図っていきます。

さて、日本郵便の金沢有松社宅跡地についてですが、所有者である国家公務員共済組合連合会との協議が概ね整いましたので、今般、用地取得等の関係予算をお諮りするとともに、三馬小学校や三馬保育所、教育プラザ富樫など南部地区における教育・福祉施設の再整備に向けた調査に着手します。

ところで、全国各地で記録的な大雨による被害が頻発しています。県内でも、7月12日から13日にかけて、線状降水帯の発生により、初めて「顕著な大雨に関する気象情報」が発表され、かほく市や津幡町において、河川の氾濫や土砂災害などの甚大な被害がもたらされました。本市においても、北部地区を中心に道路や河川、農林業施設などで被害があったことから、関係機関と連携しながら、早急な本格復旧に努めます。

加えて、近年の降雨は局地化・激甚化しており、総合治水対策の重要性が増しているこ

とから、今般、準用河川の浚渫計画や水防設備の遠隔システムの導入などを前倒し、今後の大雨や台風への備えに万全を期していきます。

また、集中的な積雪時における除排雪体制を確保するため、除雪機械オペレーターの資格取得や町会等の除雪機械などの購入にかかる助成枠を追加するとともに、大桑町地内の犀川河川敷と田上町地内の金沢大学管理地に、新たに排雪場を整備いたします。引き続き市民の皆様のご協力を得ながら、今冬の降雪への備えを強化してまいります。

次に、市民生活に影響を及ぼす公共交通についてです。北陸鉄道線に関して、一昨日、知事及び沿線市町の首長と協議を行い、石川線・浅野川線の必要性を確認した上で、引き続き、鉄道として存続すべきと全会一致で合意しました。早速、国の支援を受けるための特定事業計画の策定に着手するとともに、明年1月に予定する法定協議会に向けて、行政の関わり方を含め、石川線・浅野川線の存在価値を高める取り組みについて、検討していきます。

また、先週、北陸鉄道株式会社から、県内のバス・鉄道にクレジットカード決済等を導入することが発表されました。市民の利便性向上と公共交通の利用促進につながることから、本市として、今後、必要な支援を行っていきたいと考えています。

加えて、金沢ふらっとバスをモデルとしたバスの電動化に向けた走行実験や石川線四十万駅におけるパーク・アンド・ライド駐車場と地域交通の相互利用実験などを通じて、カーボンニュートラルの推進とともに、公共交通の利用を促してまいります。

次に、環境施策に関してですが、来月30日に文化ホールにおいて、食品ロス削減に向けた全国大会を開催します。市民や事業者など全国から関係者が一堂に会するイベントであり、専門家によるトークセッションなどを通じて、本市の取り組みを広く全国に発信するとともに、食品ロスの更なる削減に向けた機運を高めていきます。

最後に、本市がめざすべき新たな都市像についてであります。一昨日、有識者等で構成する検討委員会から、検討結果をとりまとめた提言書をいただきました。提言では、金沢の個性である「文化」を礎に、心豊かで活力ある未来を、すべての人々と共に創りあげていくため、将来像として「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」を掲げるとともに、そ

の実現に向けた5つの基本方針が示されました。今後、12月定例会議会への議案の上程に向けて、パブリックコメントなどを通じて、広く市民のご意見を聞きながら、庁内策定本部において最終案を取りまとめていきます。

【提出議案の説明】

さて、今回提出いたしました補正予算案は、先に述べた物価高騰対策に関する経費や、7月の大雨災害に伴う災害復旧費のほか、緊急所要の経費が主な内容であり、全会計の総額は、25億3,890万3千円となりました。

福祉健康・こども未来関係では、先に述べた児童クラブの開設や、障害福祉施設の整備を支援するほか、都市整備・土木関係では、大雨災害による公園や市道の災害復旧経費を計上するとともに、昨年度の雪害により破損した道路舗装や消融雪装置等の補修費を追加しています。

経済・農林水産関係では、中小企業等の国際見本市への出展や宿泊施設の改修にかかる助成枠を追加するとともに、農林業施設の災害復旧経費やクマ・イノシシの被害防止にかかる経費を計上しています。

教育関係では、半導体不足による納期を確保するため、老朽化した西部共同調理場食器洗浄機の更新を前倒しするほか、文化スポーツ関係では、合宿や文化スポーツイベントの誘致にかかる助成枠を追加しています。

危機管理関係では、自主防災組織の防災資機材等の整備に対する助成枠を追加するほか、都市政策関係では、交通事業者が実施するバス車両のバリアフリー化を支援していきます。

予算以外の議案では、旅館業法の一部改正に伴う金沢市手数料条例の一部改正など条例案4件のほか、金沢市南部共同調理場（仮称）の新築工事にかかる請負契約の締結や、移転する公立大学法人金沢美術工芸大学に対する財産の出資など12件をお諮りし、報告案件として、法人の経営状況など21件を報告しています。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。